参考資料２

ヤンバルテナガコガネ（*Cheirotonus jambar*）について

○ 分布と系統: 沖縄島北部のスダジイやウラジロガシの原生林にのみ生息する日本固有種で日本最大の甲虫類。近年の系統学的研究では中国北部からベトナム等にかけて分布するヤンソンテナガコガネ（*C. jansoni*）にもっとも近縁で、テナガコガネ属では最も遺存的な種であり、学術上貴重な存在であることが明らかになっている。

○ 生態: 原生林の大木の樹洞に形成されたフレーク状の腐植という限られた資源を幼虫の餌としており、1世代に 3～4 年を要するものと考えられる。

○ 生息状況: 道路建設やダム建設などによる生息木の喪失などの直接的影響や、それらによる森林の乾燥などの間接的影響により、繁殖に適した大木の数は減少している。また、密猟による直接捕獲や生息木の破壊の影響も深刻である。

○ 保全に関する状況: 1983 年に発見され、1984 年に命名記載された。国内希少野生動植物に 1996 年に指定され、保護増殖事業が実施されている。1985 年に国の天然記念物に指定。環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧Ｉ類(CR+EN)とされている。また、沖縄県指定天然記念物であり、県のレッドデータブックの絶滅危惧種。

○主な参考文献

(1) 東清二 (1984)ヤンバルテナガコガネについて. 昆虫と自然, 19(10): 18-22.

(2) Kurosawa,Y., (1984)Discovery of a new long-armed scarabaeid beetle (Coleoptera) on the Island of Okinawa. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo.(A), 10:73-78.

(3) 水沼哲郎 (1984) ヤンバルテナガコガネ. 104pp. 朝日出版社.

(4) 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝(1985)原色日本甲虫図鑑(II),pp.514.保育社,大阪.

(5) Young (1989) Euchirinae (Coleoptera: Scarabaeidae) of the world: Distribution and taxonomy. Coleopt. Bull., 43: 205-236.